

サーマルレシートプ リンタ ユーザ ーズ マニュアル LK-T100



[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名称は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より 1 年とさせていただきます。但し、サーマルプリンヘッド及びカッターロールは、3 カ月とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てセルフバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。





■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。
故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。
装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。
また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	9
1.1. 梱包内容の確認	9
2. 外形寸法図と各部名称	10
3. 外形寸法図	11
4. インターフェイス	12
4.1. 電源コネクタ	12
4.2. シリアルインターフェイス	12
4.3. USB インターフェイス	13
4.4. キャッシュド I/O インターフェイス	13
5. 使ってみましょう	14
5.1. ローランド・ハート・をセットする	14
5.2. ハート・ハート・の対処	15
5.3. テルテスト	15
5.4. HEX デバイスモード	15
5.5. コントロールパネル	16
フィードボタン	16
LED インディケータ	16
6. プリンターライブラリー	17
プリンタータイプ	17
「Printer Commands」タイプ	17
「Barcode」タイプ	17
「Logo Selection」タイプ	18
7. OPOS トライブラリー	18
ユーティリティ	18
NV logo Setup ユーティリティ	18
SetupPOS ユーティリティ	19
8. ユーティリティ	20
9. コマンドリスト	22
補足 A. 仕様	23
補足 B. メンテナンス	24
補足 C. ASCII コード表	25
修理依頼書	27

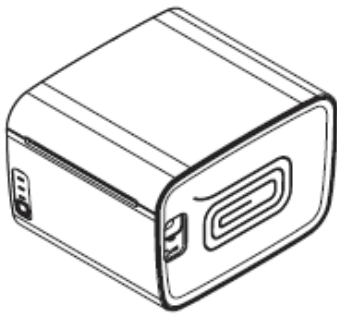
Blank page

1. はじめに

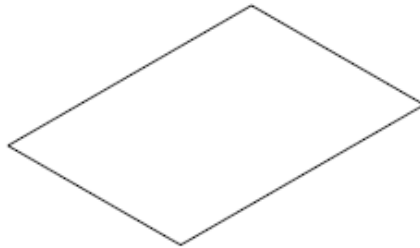
この度は、弊社サマルシートプリンタ LK-T100 (以下、プリンタ) をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、プリンタの基本的な操作方法を説明したユーザーズマニュアルです。ご使用前に良くお読みになり、プリンタを正しくお使いください。

1.1. 梱包内容の確認

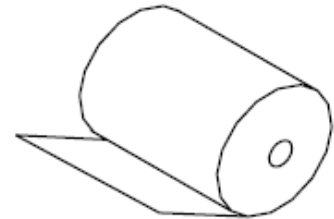
ご購入になったプリンタパッケージには、下記の商品が同梱されています。不足物や破損物が無いかをご確認ください。
尚、プリンタの個装箱は、修理などでプリンタを返送する際に使用するため、大切に保管してください。



プリンタ本体



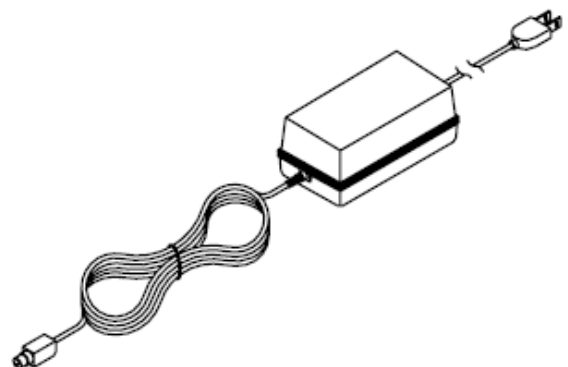
ユーザーズマニュアル (本書)



サンプルロール紙



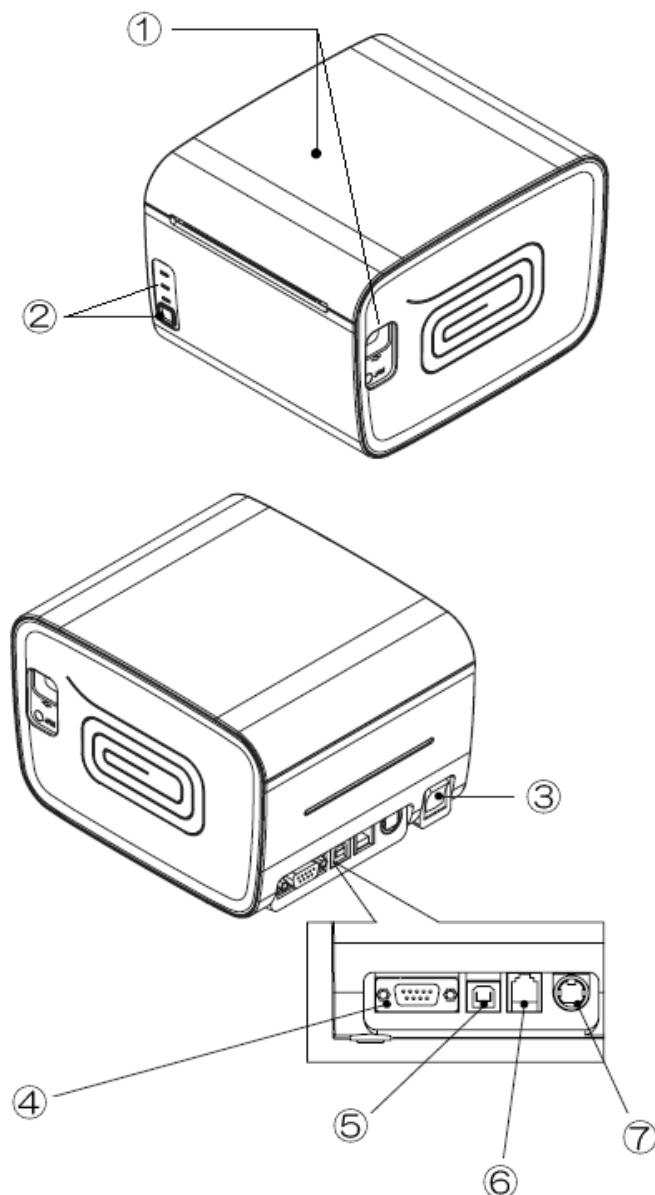
インターフェイスケーブル (オプション)



ACアダプタ (ACコード付)

不足物や破損物がある場合は、お手数ですが、弊社又は弊社販売店までご連絡をお願いします。

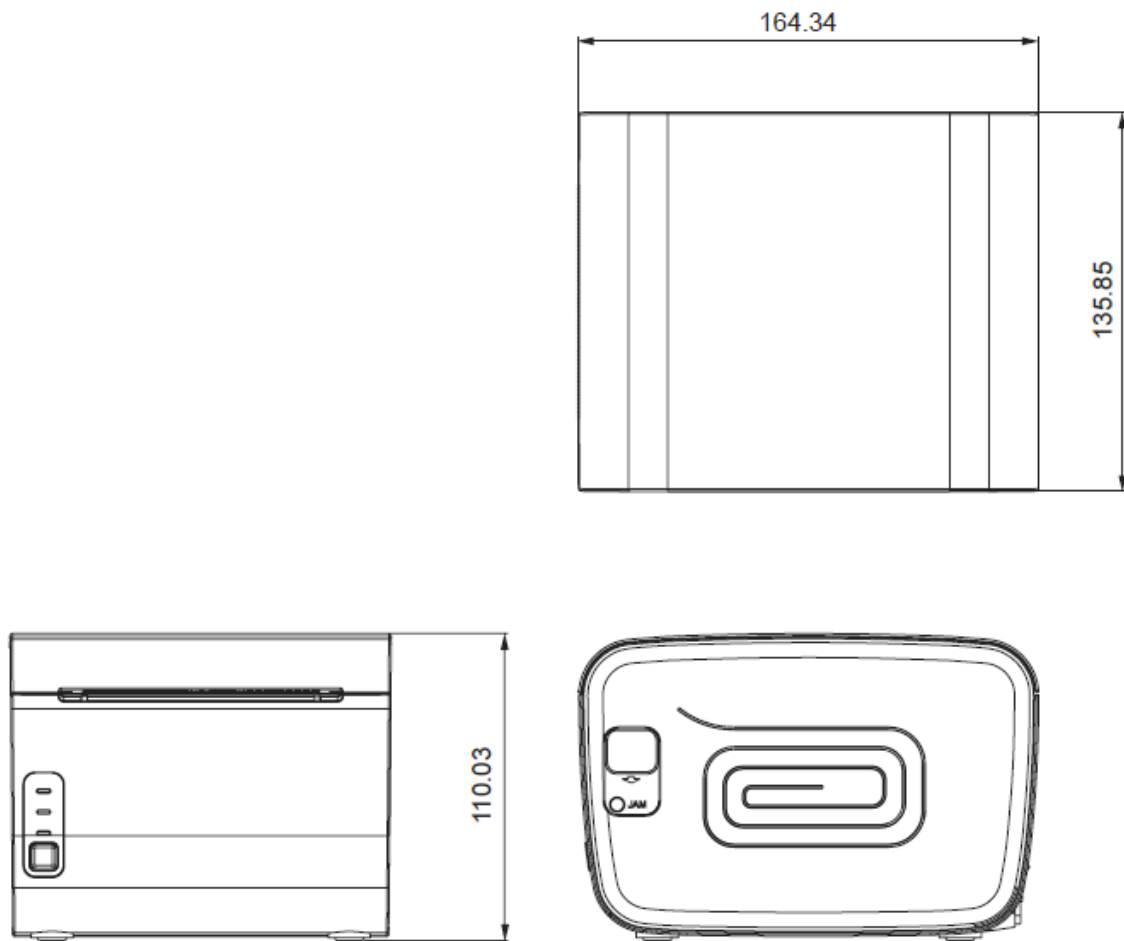
2. 外形寸法図と各部名称



- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ① トップカバー | サイドのレバーを押し下げて開き、ロールペーパーの交換を行います。 |
| ② フィードボタン&LED | ペーパーフィードとプリンタステータスをLED表示します。 |
| ③ 電源スイッチ | プリンタの電源をオン/オフします。 |
| ④ シリアルインターフェイスコネクタ | シリアルインターフェイスケーブルを使って、ホストと接続します。 |
| ⑤ USBインターフェイスコネクタ | USBインターフェイスケーブルを使って、ホストと接続します。 |
| ⑥ DKインターフェイスコネクタ | キャッシュボードやモデムを接続します。 |

3. 外形寸法図

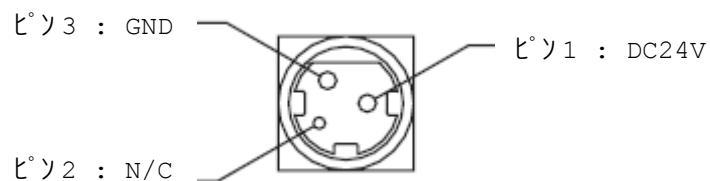
下記に外形寸法図を示します。



4. インターフェイスコネクタ

4.1. 電源コネクタ

下記に電源コネクタのピン配列を示します。



付属の専用 AC アダプタを接続してください。

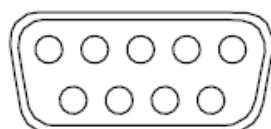


禁止

- 専用 AC アダプタを他の機器に使用しないでください。
- 専用 AC アダプタ以外の AC アダプタをプリンタに接続しないでください。

4.2. シリアルインターフェイスコネクタ

下記にシリアルインターフェイスコネクタのピン配列を示します。



SERIAL

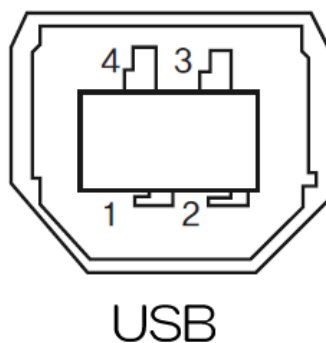
Dsub9ピン 双コネクタ

ピン番号	信号名	入出力
1	GND	-
2	TxD	出力
3	RxD	入力
4	DTR	出力
6	DSR	入力

付属のシリアルインターフェイスケーブル又は正しい結線が行われている適切なインターフェイスケーブルでホストに接続してください。

4.3. USB インターフェイスコネクタ

下記に USB インターフェイスコネクタのピン配列を示します。

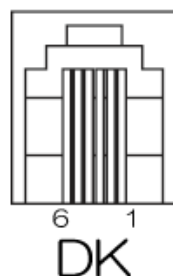


ピン番号	信号名	入出力
1	DC5V	-
2	DATA-	出力
3	DATA+	入力
4	GND	出力

付属の USB インターフェイスケーブル又は正しい結線が行われている適切なインターフェイスケーブルでホストに接続してください。

4.4. キャッシュメモリーインターフェイスコネクタ

下記にキャッシュメモリーインターフェイスコネクタのピン配列を示します。



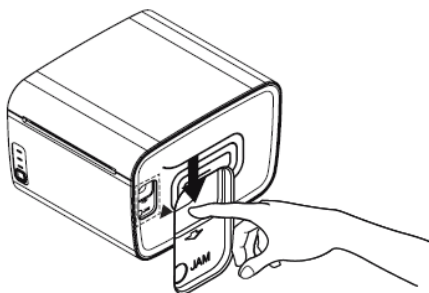
ピン番号	信号名	入出力
1	GND	-
2	キャッシュメモリー出力信号 1	出力
3	トリアップン/リリース 信号	入力
4	DC24V	-
5	キャッシュメモリー出力信号 2	出力
6	GND	-

正しい結線が行われている適切なインターフェイスケーブルでキャッシュメモリーやメモリーボックスに接続してください。

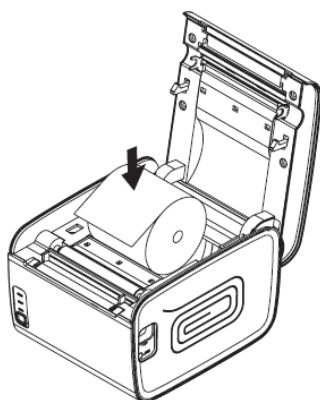
5. 使ってみましょう

5.1. ロール紙をセットする

1. プリンタが待機受信中又は印字中で無いかを確認してください。
2. プリンタ右側面にある紙押し下げボタンを押下げて、トップカバーを開けます。

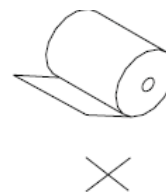
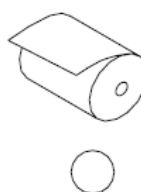


3. ロール紙の芯(コア)が残っている場合は、取り出します。
4. 新しいロール紙を下記のように正しくセットします。ロール紙の仕様や向きに注意してください。

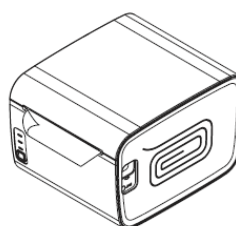
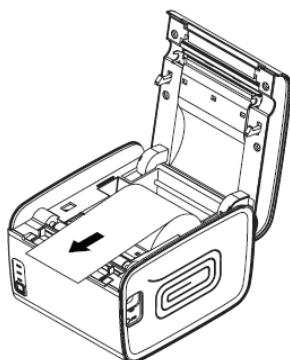


ロール紙仕様

紙厚 : 0.065 ~ 0.1mm
幅 : 79.5mm +/-0.5mm
ロール直径 : 83mm max.
巻方向 : 印字面外巻



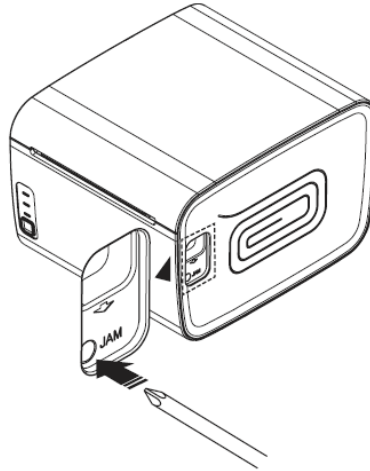
5. 下図のように少しだけ紙を引き出した状態で、トップカバーを閉じ、最後に外に出た余分な紙をきれいに切り取れば完了です。



5.2. ペーパージャムの対処

ペーパーがカッター部に巻き込まれた状態でジャムした場合、トップカバーが開かなくなる場合があります。このような場合は、まず、プリンタの電源のON/OFFを繰り返し行い、症状が改善されるか確認してください。

症状が改善されない場合は、プリンタの電源をOFFにし、ドライバーなど先端が細い工具を下記に示す穴 (JAM ホール) に差し込んでください。



5.3. テスト

テストを実行することで、プリンタ機能のチェック、印字品質チェック、ROMバージョン/DIPスイッチ設定の確認が行えます。下記にテストの手順を示します。必要に応じて、実施してください。

1. プリンタの電源をONにします。
2. プリンタ前面のフィードボタンを押した状態で、プリンタの電源をONにします。
3. テストが起動したことを示す「Self-test printing Please press the PAPER FEED ...」メッセージが印字された後、ペーパーがカットされ、I/O LED が点灯します。
4. フィードボタンを再度押し、キャラクターセット印字テストを開始します。
5. キャラクターセット印字テストが終了すると、「*** Complete ***」メッセージが印字された後、ペーパーがカットされます。
6. テスト終了後、プリンタは自動的にオンラインモード (通常の動作) に移行します。

5.4. HEX ダンプモード

HEX ダンプは、主にプログラムのデバッグで使用されるモードで、プリンタは受信したコマンドやデータを全て HEX/ASCII キャラクタでダンプ印字します。

下記の手順で HEX ダンプモード を起動します。

1. プリンタの電源をONにします。
2. プリンタ前面のフィードボタンを押した状態で、プリンタの電源をONにします。
3. テストが起動したことを示す「Self-test printing Please press the PAPER FEED ...」メッセージが印字された後も、そのまま2秒以上フィードボタンを押し続けます。
4. HEX ダンプモード が起動したことを示す「Hexadecimal Print mode ...」メッセージが印字されます。
5. コマンドやデータをプリンタに送信すると、HEX/ASCII キャラクタでダンプ印字されます。

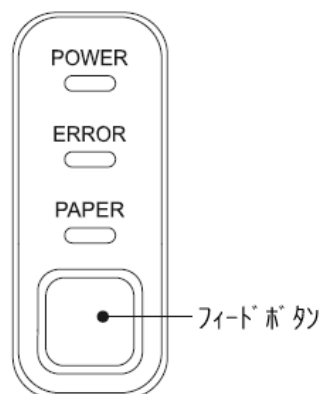
ダンプ印字例

```
1B 21 00 1B 26 02 40 40 .!..&.@@
1B 25 01 1B 63 34 00 1B .%..c4..
41 42 43 44 45 46 47 48 ABCDEFGH
```

(*) ASCII キャラクタ印字できないエスケープキャラクタは、「.」として印字されます。

5.5. コントロールパネル

プリンタの前面には、3つのLEDインディケータとフィードボタンが用意されています。



フィードボタン

フィードボタンを押すことで、紙送り (ペーパーフード) が行えます。1回押すと、1行紙送りし、押し続けると、連続して紙送りがされます。

★ フィードボタンは、<ESC>c5 コマンドで無効に設定することが可能です。

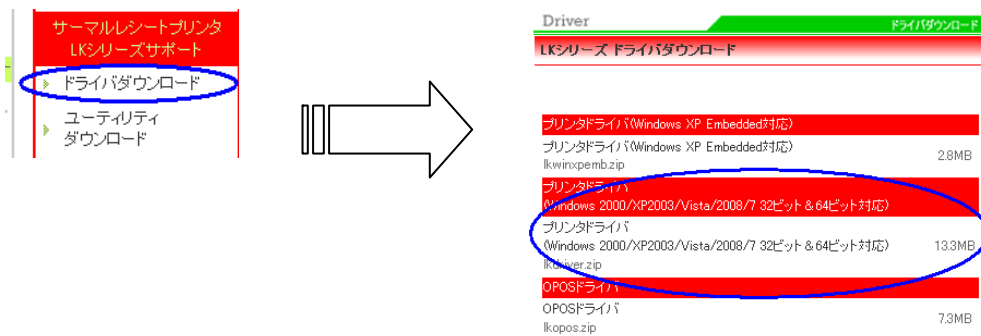
LEDインディケータ

LEDインディケータは、プリンタのステータス表示を行います。下記の表を参照ください。

ステータス	PAPER LED (赤色)	ERROR (赤色)	POWER (緑色)	原因・対処
電源OFF	OFF	OFF	OFF	電源が供給されていません
電源ON	OFF	OFF	ON	電源が供給されています
オンライン	OFF	OFF	ON	オンライン動作中です
カバーオープン	OFF	ON	ON	トップカバーを閉じてください
ペーパー切れ	OFF	ON	ON	新しいロールペーパーをセットしてください
ペーパー残少し	ON	OFF	ON	ペーパーが残り僅かです

6. プリンタドライバ

プリンタドライバは、弊社 WEB サイト www.e-welcom.com よりダウンロードしてください。



プリンタドライバをインストールすると、「VENDOR THERMAL PRINTER」(デフォルト名)が追加されます。



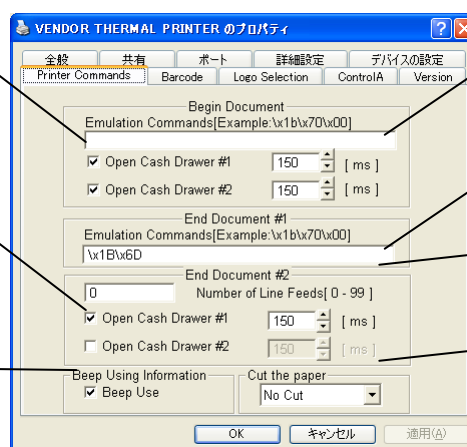
プロパティ

「Printer Commands」タブ

ドキュメント印刷開始前にキャッシュドの出力#1 及び#2 を出力する場合は、チェックを入れ、出力時間をミリ秒単位で指定します。

ドキュメント印刷終了後にキャッシュドの出力#1 及び#2 を出力する場合は、チェックを入れ、出力時間をミリ秒単位で指定します。

ビープ音を有効にする場合は、チェックを入れます。



ドキュメント印刷開始前に発行したいコマンドを Hex で入力します。例えば、ESC (1BHex) は、/x1b と入力します。

ドキュメント印刷終了後に発行したいコマンドを Hex で入力します。例えば、ESC (1BHex) は、/x1b と入力します。

ドキュメント印刷終了後に紙送り (ペーパーフード) したい行数を指定します。

カッター動作を指定します。

End of Document
ドキュメント印刷終了時にカットします。

End of Page
ページ印刷終了時にカットします。

No Cut
カットしません。

「Barcode」タブ

定義したいバーコードフォント名を選択します。

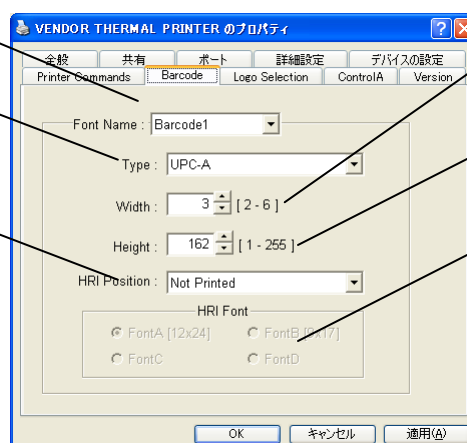
バーコードタイプを選択します。

ヒューマンリーダブルの印字位置を選択します。
Not Printed
印字しません。

Below
バーコードの下に印字します。

Above
バーコードの上に印字します。

Print Both
バーコードの上下両方に印字します。



カールメントの幅を 2~6 ドットの範囲で指定します。

バーコードの高さを 1~255 ドットの範囲で指定します。

ヒューマンリーダブルのフォントを選択します。

「Logo Selection」タブ

スタート/エンドの印字位置を選択します。

Left

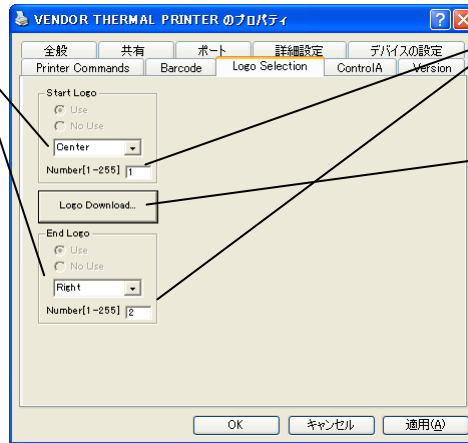
左揃えで印字します。

Center

中央揃えで印字します。

Right

右揃えで印字します。

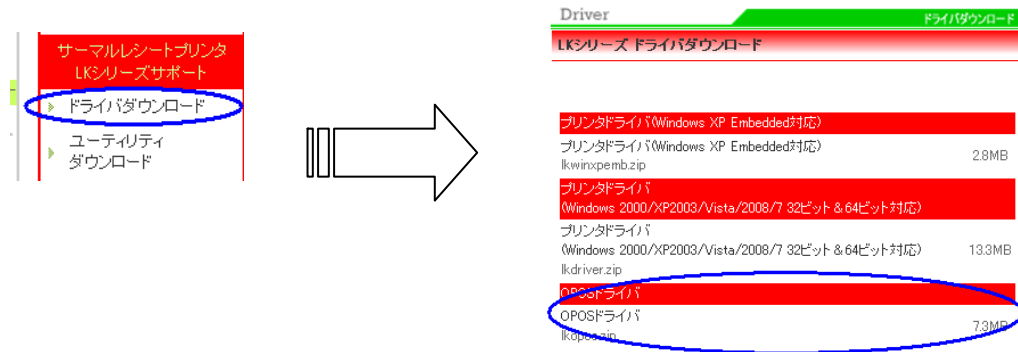


印刷するロゴファイル番号を指定します。

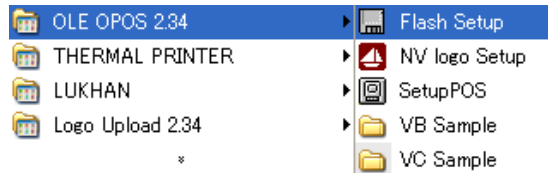
プリンタドライバ経由でロゴのダウンロードを行うユーティリティを起動します。

7. OPOSドライバ

OPOSドライバは、弊社WEBサイト www.e-welcom.com よりダウンロードしてください。



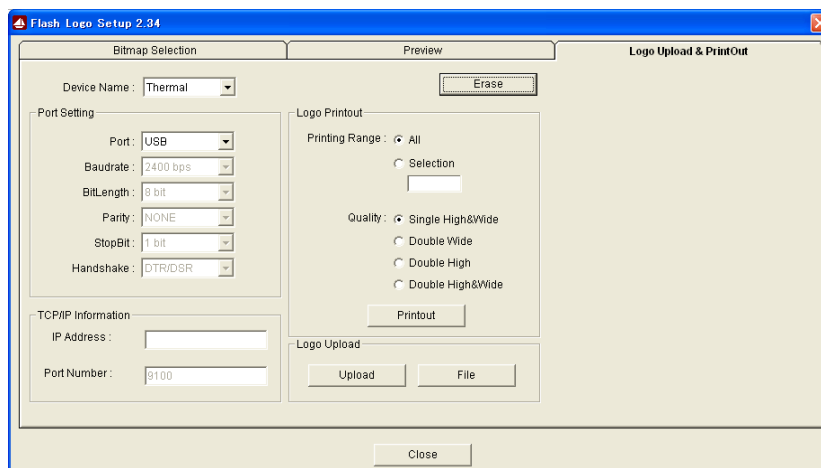
OPOSドライバをインストールすると、OPOSコントロール、ユーティリティ、VB/VC サンプルなどが追加されます。



ユーティリティ

NV logo Setup ユーティリティ

USB/シリアル/イーサネット経由でプリンタにロゴファイル登録を行うユーティリティです。

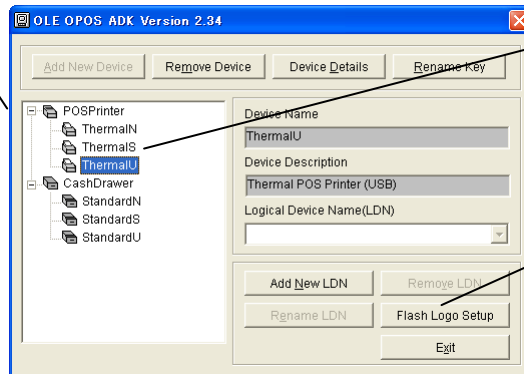


SetupPOS ユーティリティ

OPOS の設定を行うユーティリティです。ここでは、USB インターフェイスのプリンタとキャッシュドレの出力の設定例を示します。

1. 左の「POSPrinter」デバイスリストから「ThermalU」を選択します。

デバイスリストが表示されていない場合は、+マークをクリックしてください。

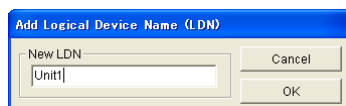


デバイスリスト

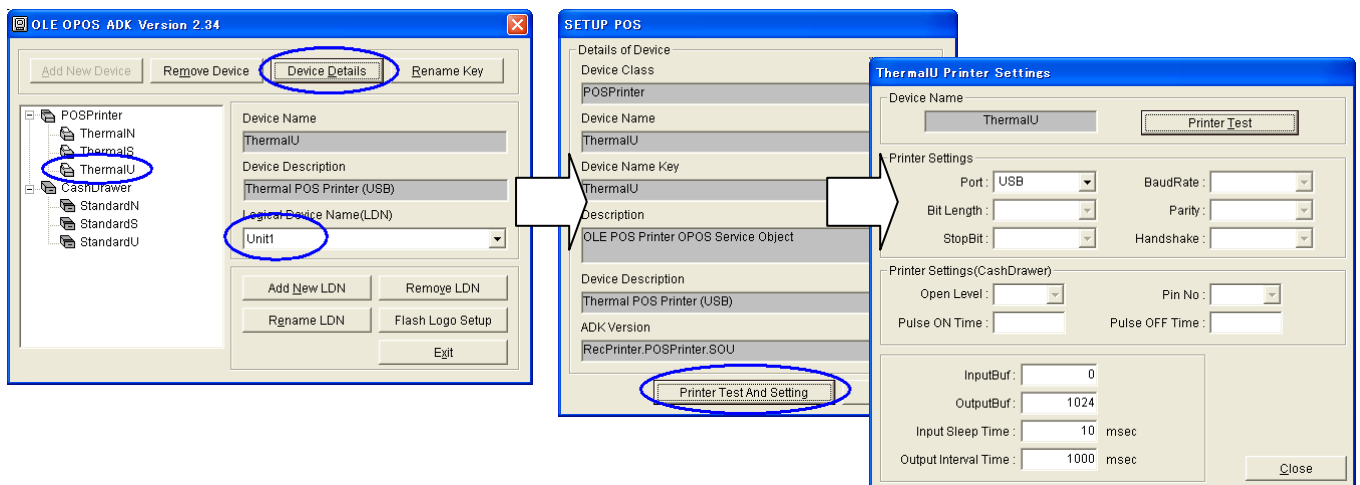
ThermalN
イーサネットインターフェイスのプリンタです。
ThermalS
シリアルインターフェイスのプリンタです。
ThermalU
USB インターフェイスのプリンタです。

レジスタ登録を行うユーティリティを起動します。

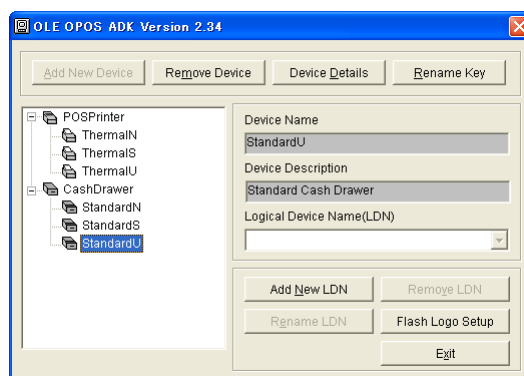
2. 「Add New LDN」をクリックし、論理デバイス名 (以下、LDN) を入力します。ここでは、付属のサンプルプログラムで使用している「Unit1」としています。



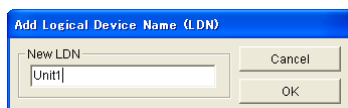
3. プリンタ「Unit1」の詳細設定を行う場合は、「ThermalU」→「Unit1」を選択した状態で「Device Details」をクリックし、続いて、「Printer Test And Setting」をクリックします。



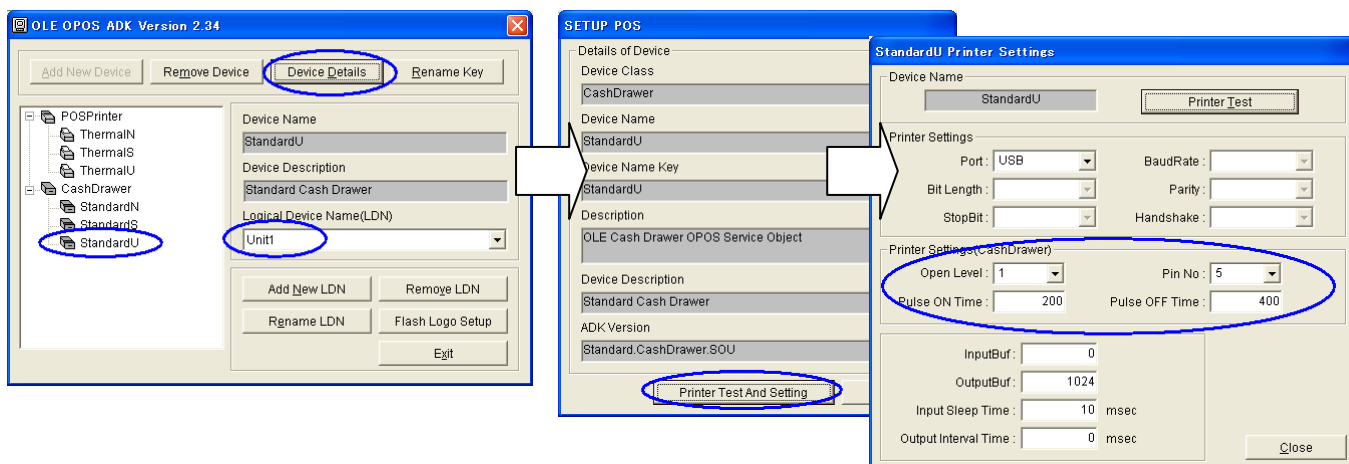
4. 続いて、キャッシュドレ出力の設定を行います。左の「CashDrawer」デバイスリストから「StandardU」を選択します。



5. 「Add New LDN」をクリックし、論理デバイス名 (以下、LDN) を入力します。ここでは、付属のソフトウェアで使用している「Unit1」としています。



6. キャットドの「Unit1」の詳細設定を行う場合は、「StandardU」→「Unit1」を選択した状態で「Device Details」をクリックし、続いて、「Printer Test And Setting」をクリックします。ここでは、メモリーボード用にキャットドの出力2 (ピン5) をキックする設定を行っています。



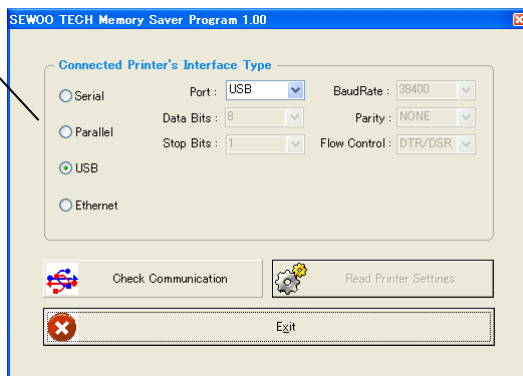
8. ユーティリティ

ユーティリティは、弊社 WEB サイト www.e-welcom.com よりダウンロードしてください。



ZIP ファイルを適当なフォルダに解凍し、ユーティリティ MemorySaver.exe を起動してください。このユーティリティは、プリンタ設定を変更するためのユーティリティです。

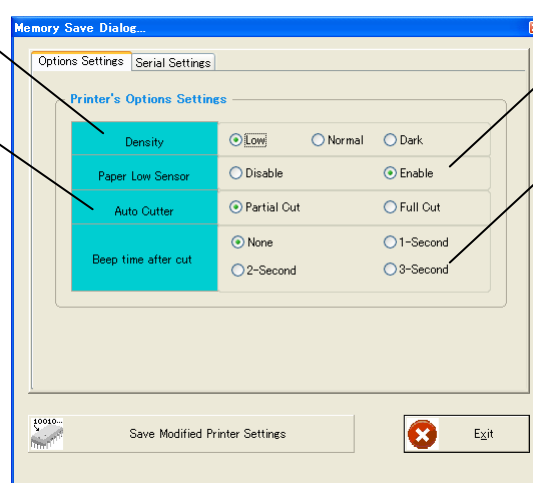
プリンタを接続しているインターフェイスを選択します。ここでは USB インターフェイスを例に説明します。



「Check Communication」→「Read Printer Setting」の順にクリックし、次へ進みます。エラーが発生する場合は、配線及びインターフェイス設定を確認してください。

濃度を設定します。
Low=低, Normal=中, Dark=高

カッター動作モードを設定します。
Partial Cut
ハーフカット (中央 1 点残し)
Full
フルカット

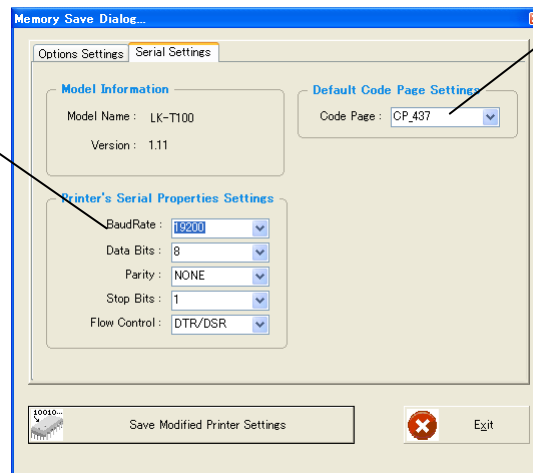


ハーフ残検知センサーを設定します。
Disable=無し, Enable=有り

カッター動作後のビープ鳴動時間を設定します。

コードページを設定します。

シリアルポートの設定します。通信パラメータは、特別な場合を除き、出荷時デフォルトのままご使用ください。



設定変更が終われば、「Save Modified Printer Setting」をクリックして、プリンタの不揮発性メモリに設定値を書き込みます。変更せずに終了する場合は、「Exit」をクリックします。

- ★ カッター動作モードの出荷時デフォルトは、ハーフカット (中央 1 点残し) です。
- ★ カッターコマンド <ESC>m, <ESC>i などカッター動作をハーフカット/フルカットを切り替えて使用することはできません。

9. コマンドリスト

No.	コマンド	機能
1	<HT>	水平タブ
2	<LF>	印字+ラインフィード
3	<CR>	印字+キャリッジリターン
4	<FF>	印字+ハーフモード動作から標準モードへ復帰
5	<CAN>	印字データキャンセル(ハーフモード)
6	<DLE><EOT>	リアルタイムにステータスの送信
7	<DLE><ENQ>	リアルタイムにプリントへ要求
8	<DLE><DC4>	リアルタイムにバース生成
9	<ESC><FF>	印字(ハーフモード)
10	<ESC><SP>	文字間スペースの設定
11	<ESC>!	印字モードの選択
12	<ESC>\$	印字領域の絶対位置の指定
13	<ESC>%	ユーザ定義文字の指定/解除
14	<ESC>&	ユーザ定義文字の選択
15	<ESC>*	ビットイメージの指定
16	<ESC>-	アラームライン(下線)モードの切/付け
17	<ESC>2	デフォルト行間スペースに設定
18	<ESC>3	行間スペースの設定
19	<ESC>=	周辺機器の選択
20	<ESC>?	ユーザ定義文字の消去
21	<ESC>@	プリントの初期化
22	<ESC>D	水平タブ位置の設定
23	<ESC>E	強調文字の指定/解除
24	<ESC>G	強調文字の指定/解除
25	<ESC>J	印字後、最小単位で順方向ハーフフィード(紙送り)
26	<ESC>L	ハーフモードの選択
27	<ESC>M	文字フォントの選択
28	<ESC>R	国際文字の選択
29	<ESC>S	標準モードの選択
30	<ESC>T	印字方向の選択(ハーフモード)
31	<ESC>V	時計回り90度回転の指定/解除
32	<ESC>W	印字領域の指定(ハーフモード)
33	<ESC>Y	相対印字位置の指定
34	<ESC>a	位置揃えの指定
35	<ESC>c3	用紙切れ信号を出力するセンサーの選択
36	<ESC>c4	印字中止を行うセンサーの選択
37	<ESC>c5	コントラストレベルの切/付け
38	<ESC>d	印字+指定行数のハーフフィード(紙送り)
39	<ESC>p	通常バースの生成
40	<ESC>t	文字セットテーブルの選択
41	<ESC>{	倒立印字(上下逆印字)の指定/解除
42	<FS>p	不揮発性メモリにビットマップイメージの印字
43	<FS>q	不揮発性メモリにビットマップイメージを登録
44	<GS>!	文字サイズの設定
45	<GS>\$	絶対印字垂直位置の指定
46	<GS>*	ダウンロードビットイメージの定義
47	<GS>/	ダウンロードビットイメージの印字
48	<GS>B	白黒反転印字モードの切/付け
49	<GS>H	ヒューマンリザブル印字位置の指定
50	<GS>I	プリントIDの送信
51	<GS>L	左マージンの指定
52	<GS>P	水平・垂直方向の移動単位を指定
53	<GS>V	カット動作モードの選択+ハーフカット
54	<GS>W	印字領域幅の指定
55	<GS>Y	相対垂直印字位置の指定(ハーフモード)
56	<GS>a	自動ステータス送信の切/付け
57	<GS>f	ヒューマンリザブル印字フォントの指定
58	<GS>h	ハーフコード高さの指定
59	<GS>k	ハーフコードを印字
60	<GS>r	ステータスを送信
61	<GS>v0	ラスタービットマップの印字
62	<GS>w	ハーフコード幅(イラスト幅)の指定
63	<ESC>i	フルカット
64	<ESC>m	ハーフチャット
65	<FS>!	全角文字の一括モード指定
66	<FS>&	漢字モードの指定
67	<FS>-	漢字モードのアラームライン(下線)の切/付け
68	<FS>.	漢字モードの解除
69	<FS>2c1d1...dk	ユーザ定義漢字の指定
70	<FS>C	JISコード/ソフトJISコードの指定(切り替え)
71	<FS>S12	漢字文字間スペースの設定
72	<FS>W	全角文字サイズ4倍角の指定/解除
73	<RS>	ビープを鳴動

(*) 制御コードは、<>で囲んで表記しています。

補足 A. 仕様

印字方式	ダットマトリックス方式
印字速度	160mm/秒 (約 35.4 行/秒)
解像度	180dpi (0.141mm/ドット)
印字幅	72mm max. (512ドット)
印字カラム数	Font A 42 @180dpi Font B 56 @180dpi
ロール幅・ロール径	紙幅 79.5mm +/-0.5mm ロール直径 83mm max.
外形寸法	135.85mm (W) x 110.03mm (H) x 164.34mm (D)
重量	約 1.4Kg (プリント本体のみ)
オートカット	カット速度 30 カット/分 max. 紙厚み 0.065 ~ 0.1mm カッター寿命 1,500,000 カット @ 紙厚み 65 μ m 300,000 カット @ 紙厚み 100 μ m
インターフェイス	RS232C, USB 兼備
電源電圧	DC24V +/-10% (専用 AC アダプタより供給)
消費電流	動作時 約 1.5A (ASCII キャラクタ印字) 待機時 約 0.15A
動作温度	5°C ~ 40°C
保管温度	-20°C ~ 60°C
湿度	10% ~ 90% 氷結・結露無し
信頼性	MCBF 50,000,000 行 (平均 12.5%の領域印字, 紙厚み 65~75 μ m) 35,000,000 行 (平均 12.5%の領域印字, 紙厚み 76~150 μ m) プリントヘッド 寿命 160Km カッター寿命 1,500,000 カット @ 紙厚み 65~100 μ m
適合規格	FCC Part 15 Class A, UL/CUL (UL 60950-1), KCC, CE-EMCD (CE-EMCD Class B では、IEEE-1284 規格準拠のシールド付ケーブルを使用しなければいけません)

補足 B. ヌデ ィーホ ックス

プリンタの DK (キャット 07) ポートには、キャット 07 の他、オ 0 ションの MB-1000 ヌデ ィーホ ックスを接続することができます。



ボリュームの調整が行えます。

ヌデ ィーホ ックスは、キャット 07 出力 2 (ピ 0 5) を使って制御します。下記に ESC/POS コマンド の例を示します。

<ESC> p m n1 n2

m : 1 を指定 (キャット 07 出力 2 (ピ 0 5))
n1 : 0 する時間 (0<n1<=n2<=255)
n2 : 0 する時間 (0<n1<=n2<=255)

キャット 07 出力 2 (ピ 0 5) が 0 になると、ヌデ ィーホ ックスは約 7 秒間の ヌデ ィーを鳴らします。

補足 C. ASCII コード 表

ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

Blank page

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドットバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番 (名称)			
製造番号 (S/N)			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に [] 回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印